
茜が丘複合施設整備基本計画（案）

【概要版】

平成24年8月



西脇市

目 次

1	茜が丘複合施設整備基本計画について	1
1 - 1	基本計画策定の目的	1
1 - 2	基本計画の構成	1
2	複合施設に求められる機能	2
2 - 1	本市を取り巻く社会情勢等	2
2 - 2	施策上の諸課題と求められる機能	3
2 - 3	各種計画における位置付け	4
3	複合施設整備の考え方	5
3 - 1	基本的な考え方	5
3 - 2	複合施設機能の整理	5
4	複合施設敷地ゾーニング計画	6
5	複合施設建築計画	7
5 - 1	整備方針	7
5 - 2	導入施設の構成	7
5 - 3	施設の規模等	8
6	事業スケジュール	10

1 茜が丘複合施設整備基本計画について

1 - 1 基本計画策定の目的

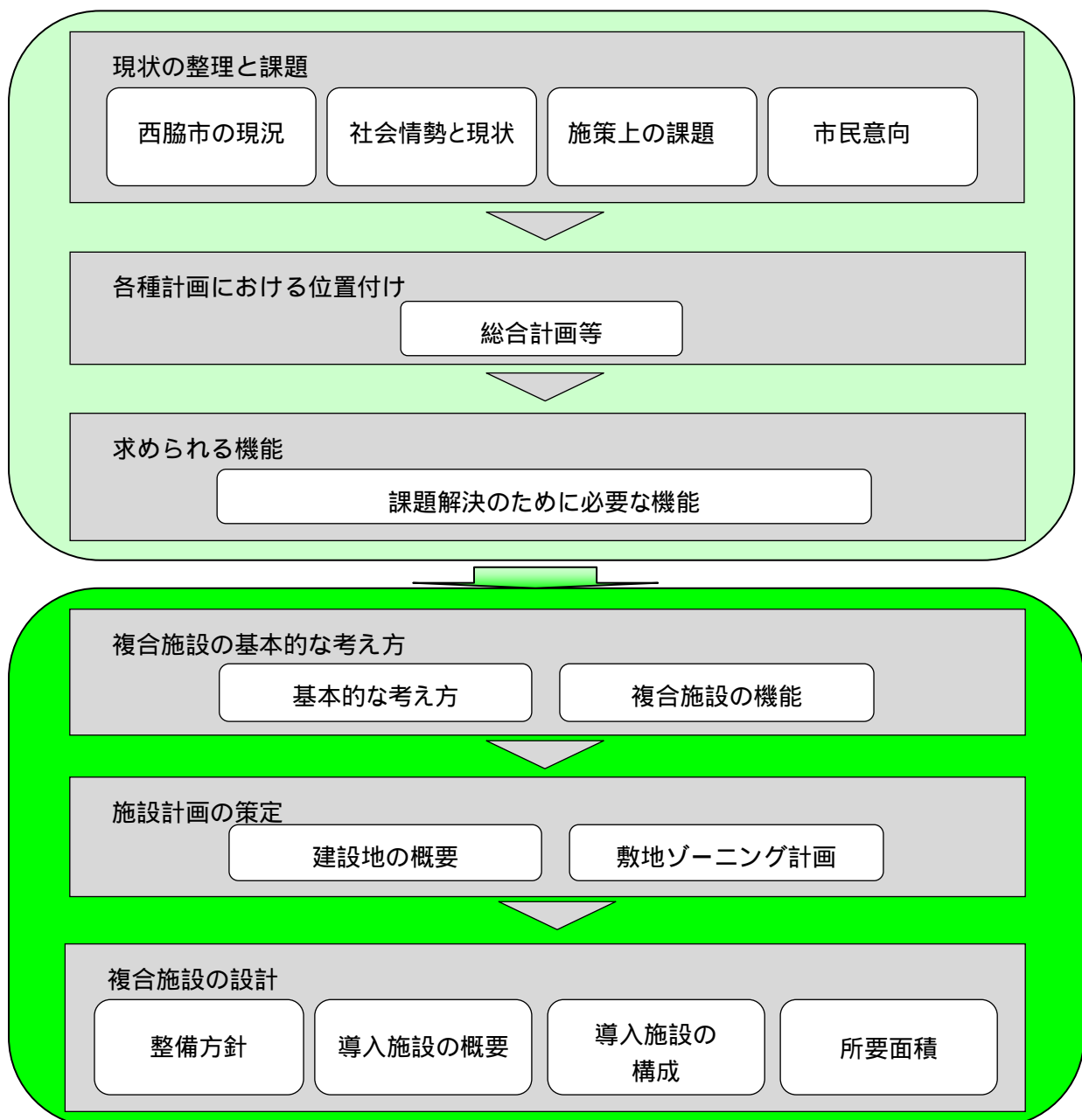
茜が丘複合施設整備基本計画は、西脇市が野村町茜が丘において計画している茜が丘複合施設について、先に策定した茜が丘複合施設整備方針及びその改訂版を踏まえ、本市の諸課題や施設の必要性等の整理を行い、複合施設の役割、規模等について具体的検討を行うことを目的とする。

1 - 2 基本計画の構成

基本計画策定にあたり、現状の整理による課題抽出と各種計画における施策の位置付けを整理したうえで、課題解決のために必要な機能を取りまとめる。

次に、複合施設の基本的な考え方や複合施設の機能を設定し、敷地ゾーニング計画や導入施設の構成などの複合施設の設計へとつなげていくこととする。

基本計画の構成



2 複合施設に求められる機能

2 - 1 本市を取り巻く社会情勢等

(1) 人口減少と少子高齢化の急速な進行

- ・人口は平成7(1995)年までは横ばいで推移していたが、それ以降は減少傾向にある。
- ・人口構造は年少人口及び生産年齢人口が大幅に減少する一方、老年人口(65歳以上)は増加しており、今後も急速に少子高齢化が進行する。
- ・若い世代が安心して子供を産み育てやすい環境の整備や、人口の流出を抑制する取組が必要である。

(2) 住民ニーズの多様化・高度化

- ・市民ニーズの多様化・高度化が進む中で、市民から求められる行政サービスの分野が拡大している。
- ・自助・共助・公助の考え方にに基づき、市民をはじめ、自治組織、NPOなど関係機関との協働によるまちづくりが必要である。

(3) まちづくりへの市民参加

- ・住民による主体的な地域課題解決の必要性が高まっており、その基礎ともいえる個々の教養・文化を高めていく必要がある。
- ・地域のコミュニティ活動への参加意識は高まっているものの、核家族化や共働き家庭が増加するなどの要因で、コミュニティ活動への参加機会は減少傾向にある。

(4) 子どもの育ちの変化

- ・少子化や核家族化の進行、地域における人間関係の希薄化などから「子どもの育ち」が変化している。
- ・子どもの社会性や創造性、発想力、身体能力の低下などが課題である。
- ・子どもが安全かつ健全に育つことができるフィールドづくりが必要である。

(5) 子育て環境や家庭環境の変化

- ・地域と家庭の関係が希薄化しつつあり、子育てや子どもの教育に不安を抱く親が増加している。
- ・ドメスティックバイオレンスや児童虐待などが問題化している。
- ・子育てや家庭での問題解決に向けて総合的な支援体制の充実が必要である。

(6) 変化に対応できる行政経営の展開

- ・住民ニーズの多様化、高度化への対応と効果的・効率的な行政経営を実現するため、選択と集中による施策の展開が必要である。
- ・財政状況を踏まえながら、市民ニーズや老朽化に応じた公共施設の再編と更新を効果的・効率的に進めていく必要がある。

2 - 2 施策上の諸課題と求められる機能

(1) 子育て環境

ア 諸課題

- ・市全域での「地域の子育て力の向上」が求められている。
- ・市内3箇所の「子育て学習センター」の連携を図り、子育て支援活動や実施事業などを地域全体で更なる連携を行っていく仕組みが必要である。
- ・子どもが安全・安心に遊べ、健やかに育つ環境づくりの場を提供するため「児童館」の整備が必要である。
- ・子どもの健全な成長や自立を支援できる人材の育成が必要である。
- ・複数の部署にわたっている子育て関連窓口の利便性向上が求められている。

イ 求められる機能

- ・子育て支援機能（児童館、子育て学習センター）の充実
- ・子育て関連窓口の一元化

(2) 男女共同参画

ア 諸課題

- ・男女共同参画施策の充実が必要である。
- ・施策を実践することができる人材の育成が必要である。
- ・子育て施策と男女共同参画施策の一体的推進が必要である。

イ 求められる機能

- ・男女共同参画施策の充実

(3) 図書館

ア 諸課題

- ・図書館は市民の教養と文化の発展や課題解決、生涯学習支援に必要不可欠な施設である。
- ・現在、童子山にある現図書館は老朽化が進み、利便性やバリアフリーなどの面で利用環境も不十分であり、近隣市町と比較して利用状況が低い状況にある。
- ・現図書館はスペース不足や構造的制約から、現在地での改修による抜本的な解決は困難であり、図書館を含めた公共施設の効果的・効率的な再編と整備が必要である。

イ 求められる機能

- ・図書館機能の整備・充実

(4) 地域コミュニティ活動

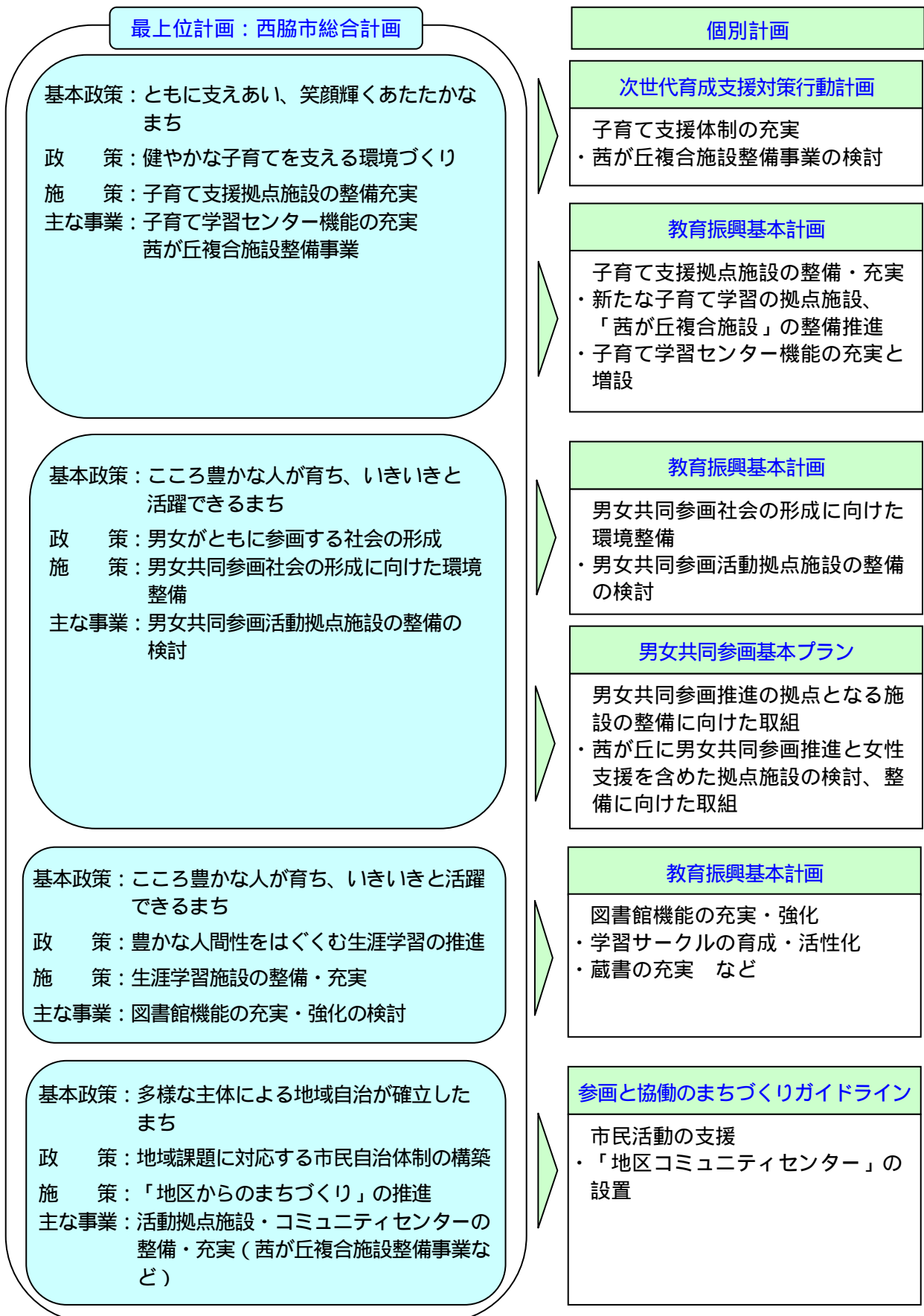
ア 諸課題

- ・コミュニティセンターの未整備地区は重春地区・野村地区の2地区のみである。
- ・同地区では人口や高齢者の偏在といった問題が生じており、地区の一体感や人と人とのつながりを醸成し、地区全体として地域課題解決に向けた取組が必要である。

イ 求められる機能

- ・コミュニティセンター機能の整備

2 - 3 各種計画における位置付け



3 複合施設整備の考え方

3-1 基本的な考え方

- ・ 地域の子ども、子育て世代の親子、高齢者等、幅広い世代の市民が、集い、学びあいながら新しいコミュニケーションが広がり、地区住民をはじめ、市民のコミュニティ活動の拠点施設とする。
- ・ 複合施設の整備に当たっては、「人つどい 人つながり 人はぐくむ 交流の場」を基本コンセプトとして、各種計画を進める。

コンセプト

人つどい 人つながり 人はぐくむ 交流の場

3-2 複合施設機能の整理

- ・ 「2章複合施設に求められる機能」と「茜が丘複合施設整備方針改訂版」から、複合施設における機能と整備する施設を以下のとおり整理する。

複合施設の機能

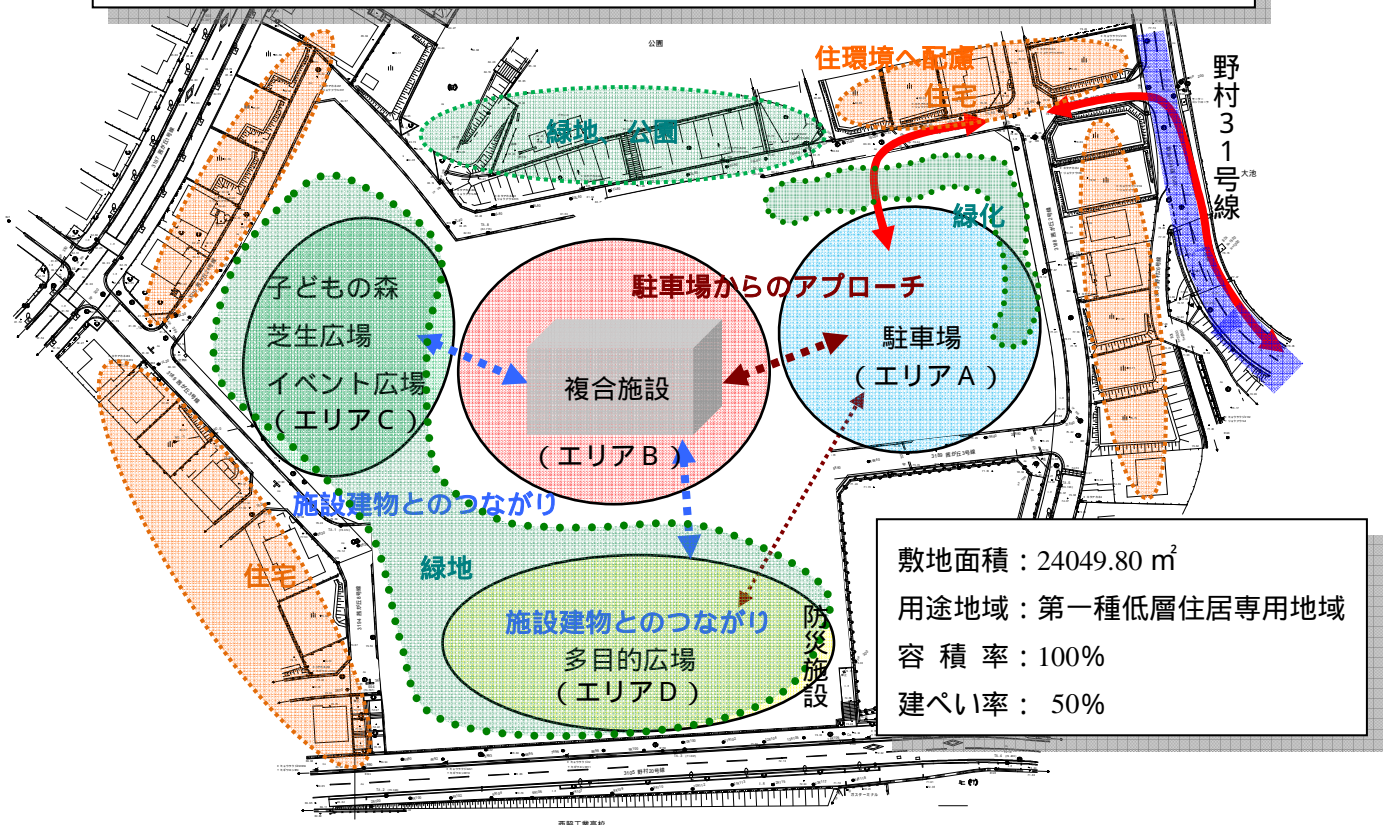
主機能	施設	ポイント
子育て支援機能	児童館 子育て学習センター	・ 子どもの健全な成長を支える居場所づくり ・ 市全体の子育て支援の拠点施設 ・ 市全体の子育てに関するコーディネーター役 ・ 子育て相談など窓口の一元化 ・ 子育て支援に係る人材育成の拠点
男女共同参画推進機能	男女共同参画センター	・ 男女共同参画に係る人材育成の拠点 ・ DV等の相談窓口の設置
図書館機能	図書館	・ 時代にふさわしい資料収集と提供 ・ レファレンスサービス強化 ・ 複合施設の各機能と連携し相乗効果を発揮
コミュニティセンター機能	コミュニティセンター	・ 重春地区・野村地区のコミュニティセンター

副機能	施設	ポイント
防災機能	避難所 防災備蓄倉庫 など	・ 防災備品の備蓄倉庫の整備や、災害時には避難場所等に活用
屋内交流機能	エントランスホール	・ 利用者間の交流やふれあいの空間 ・ 明るくゆったりとしたエントランスホール
行政機能	総合窓口	・ 施設案内、行政窓口
屋外交流機能	多目的広場 子どもの森 芝生広場 など	・ 敷地内に、子どもから高齢者まであらゆる世代の人々が交流し、世代間のつながりを育む施設

4 複合施設敷地ゾーニング計画

【敷地ゾーニング図】

- 「交通動線」 : 多くの車両流入が見込まれる市北部からのアクセスが良好で勾配及びカーブ区間での分岐とならず、安全性が比較的高い「野村31号線」を計画地へのメインの交通動線として想定する。
計画地周辺の道路については歩道整備、緑化などを行う。
- 「複合施設」 : 敷地中央に位置するエリアBに複合施設建物を整備し、各施設との連携を強化し、機能向上を図る。
- 「駐車場」 : メインの交通動線とした「野村31号線」に近いエリアAに駐車場を整備し、市内からのアクセス向上を図る。住環境へ配慮し、周囲を緑化する。また、駐車場から複合施設へのアプローチについてはバリアフリー面や利便性に配慮する。
- 「子どもの森」 : 複合施設及び既存の公園に隣接するエリアCに子どもの森や遊具などを整備することにより、周辺環境の維持向上を図る。
- 「芝生広場」 : 緑地を整備し、住宅地へのバッファゾーンも兼ねる。また、傾斜地の一部にイベント広場を整備する。
- 「多目的広場」 : 日当たりがよく、フラットな造成地となるエリアDに多目的広場を整備する。また、この多目的広場は、臨時の駐車場や避難スペースとしても機能させる。
- 「防災施設」 : 避難スペースとしての活用も想定される多目的広場に隣接した位置に防災施設を整備する。また、区域全体に避難所機能を配置を検討する。



5 複合施設建築計画

5 - 1 整備方針

- ・基本コンセプト「人つどい 人つながり 人はぐくむ 交流の場」を建築設計の側面からも充足させるため、以下に掲げる4つの点に特に留意した建築計画とする。

(1) 交流・にぎわいの創出

人々の交流を創出するゾーニング計画によって、内部空間・外部空間を構成する。

(2) ユニバーサルデザインへの対応

誰もが快適に利用できる施設として、ユニバーサルデザインに対応する。

(3) 周辺環境との調和

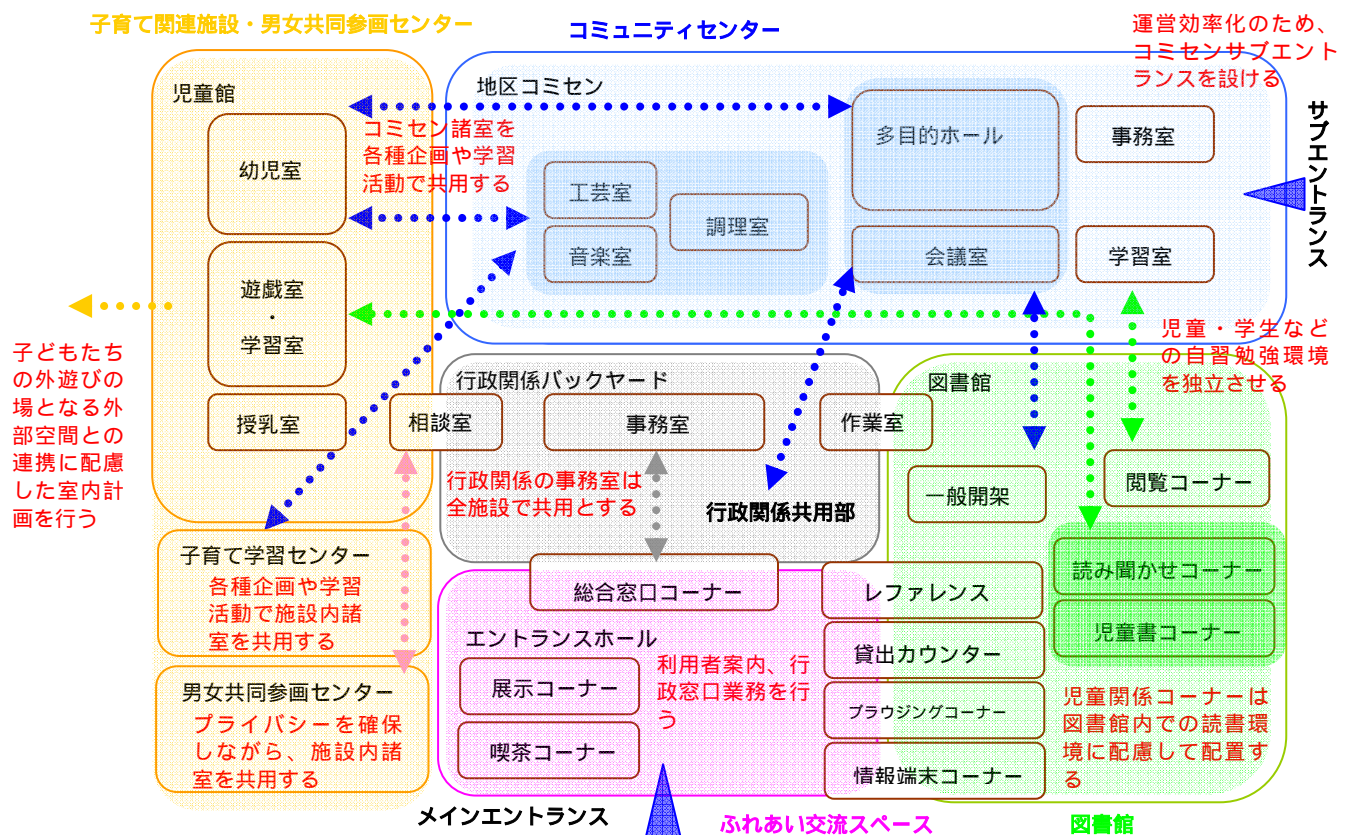
周辺環境とともに街並みを形成していくにふさわしい建築物とする。

(4) サステナブルデザインへの対応

建設時だけでなく、建築物のライフサイクルを通じて環境に配慮し、持続可能な建築物とするため、サステナブルデザインに対応する。

5 - 2 導入施設の構成

- ・導入する各施設や所要室の関連性や配置の留意事項などを以下のように整理する。
- ・各施設や所要室の配置計画は、相互の関連性などを踏まえた計画を今後の基本設計等で検討する。



エントランスホールには喫茶コーナーや展示コーナーを計画し、市民の交流の場をつくる。また、図書館機能のうち、利用者の多い、貸出カウンターやブラウジングコーナーなどをホールに一体となるような配置を検討することで、にぎわい感の創出や施設の一体感の醸成を図る。

5 - 3 施設の規模等

(1) 児童館・子育て学習センター

施設名	所要室	特記事項(用途・機能など)	面積
児童館・ 子育て学習 センター	遊戯室 ・ 学習室	室内遊具などを設置し、自由に子どもが遊ぶことのできるスペース(子育て学習センターの講座、サークル活動のスペースとしても共用する。)	約 470㎡
	幼児室	幼児など未就学児童が自由に遊ぶことのできるスペース	
	授乳室・子ども用トイレ	子どもに使いやすいトイレや授乳のためのスペース	

上記以外に必要となる諸室についてはその他施設と共用する。

(2) 男女共同参画センター

・男女共同参画センターは必要となる諸室をその他施設と共用する。

(3) 図書館

施設名	所要室など	特記事項(用途・機能など)	面積
図書館	レファレンスコーナー	レファレンス業務を行うコーナー	約 1,700㎡
	貸出コーナー	資料貸出・利用登録業務を行うコーナー	
	情報端末コーナー	資料検索やインターネット端末等の配置を行うコーナー	
	ブラウジングコーナー	新聞・新刊雑誌などを集中的に配置し、気軽に情報収集を行うことのできるスペース	
	一般開架コーナー	開架書架スペース(目標蔵書冊数:開架約15万冊)	
	閲覧コーナー	落ち着いた雰囲気を読書や資料研究などを行うことのできるスペース	
	児童書コーナー	子どもが絵本などの児童書を選び、読書ができるスペース	
	読み聞かせコーナー	読み聞かせ教室や親子などが読書を行うためのスペース	
	A Vコーナー	音声資料や映像資料等の配架、視聴を行うためのスペース	
	事務室(作業室)	資料整理など、図書館運営業務のためのスペース	
閉架書庫	閉架書庫スペース(収容:約5万冊)		

上記以外に必要となる諸室についてはその他施設と共用する。

(4) コミュニティセンター

施設名	所要室	特記事項(用途・機能など)	面積
コミュニティセンター	事務室	重春地区・野村地区の運営事務室	約 1,400㎡
	応接室	応接、打合せ用	
	多目的ホール	地区会合や集会、講演などを行うためのホール (収容人数:300名程度)	
	会議室(中)	会議、打合せ用(収容人数20名程度)	
	会議室(中)	会議、打合せ用(収容人数20名程度・和室化対応)	
	会議室(大)	集会、講演など(収容人数40名程度・OA対応)	
	調理室	料理教室、サークル活動など(調理台7台程度)	
	音楽室	楽器練習、サークル活動 (防音設備・収容人数20名程度)	
	工芸室	工作教室、サークル活動 (給排水設備・収容人数20名程度)	
	学習室	自習用スペース(収容人数30名程度)	
	サロン	多目的ホールの前室、地区住民などの交流スペース	

上記所要室の一部はその他施設と共用する。

(5) その他の施設

ふれあい交流スペース

施設名	所要室など	特記事項(用途・機能など)	概算規模
エントランスホール	展示コーナー	各種啓発、展覧会などを行うためのスペース	約 500㎡
	喫茶スペース	コミュニティカフェなど利用者の交流のためのスペース	

行政関係共用部

施設名	所要室など	特記事項(用途・機能など)	概算規模
総合窓口	総合窓口コーナー	子育てに関する行政関係窓口、施設案内を行う窓口	約 130㎡
	事務室	行政関係施設で共用する事務スペース	
	相談室	行政関係施設で共用する相談スペース	





(6) 施設規模算定

・各施設の合計から、施設の概算規模は 約 4,200m²とする。

児童館・子育て学習センター	470m ²
図書館	1,700m ²
コミュニティセンター	1,400m ²
ふれあい交流スペース	500m ²
行政関係共用部	130m ²
合計	4,200m ²

6 事業スケジュール

・複合施設の事業スケジュールは下表のとおりとする。

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
基本計画				
基本設計				
実施設計				
本体工事				
管理運営・事業計画	